



# 日本植物病理学会ニュース 第91号

(2020年8月)

## 【名誉会員の略歴とお話】

### 名誉会員 百町満朗



1949年北海道生まれ。1973年3月北海道大学農学部卒業、1978年3月同大学大学院農学研究科修士課程修了、4月同大学農学部助手、1983年3月農学博士（北海道大学）、1986年～1987年米国ミシガン州立大学客員研究員、1988年3月岐阜大学農学部助教授、1991年4月同教授、2004年同応用生物科学部教授・同大学院連合農学研究科教授併任、2015年3月定年退職、同年4月岐阜大学名誉教授。大学在職中から退職後1年までの4年間JICA短期専門家としてアルゼンチンにて土壌病害の生物防除に関する技術指導に従事。学会活動等：学会誌編集幹事、評議員、関西部会長、学会長、賞選考委員、功績者選考委員等。受賞：2000年日本植物病理学会賞。著書等：最新植物病理学（朝倉書店、2004、分担執筆）、植物病理学（文栄堂、2010、分担執筆）、拮抗微生物による作物病害の生物防除、全国農村協会、2003、監修）、微生物と植物の相互作用、ソフトサイエンス社、2009、共編）、Biological Control of Soil-borne Plant Pathogens, CAB International, 1990、分担執筆）等。

研究内容：北海道大学で宇井格生先生から *Rhizoctonia solani* の手ほどきを受け、以来各種作物に重大な被害をもたらす主要な土壌病原菌の生理・生態に関する研究を行った。また、各種有用微生物を用いた生物防除に関する研究を行うとともに病害抑制に関わるメカニズムを生態学的・生化学的・分子生物学的観点から追求した。とくに、土壌静菌作用や土壌病害の発病衰退現象、および植物生育促進菌類による植物への全身抵抗性の誘導の仕組みについて解析した。また、環境に負荷の少ない土壌殺菌法の開発、病原菌の増殖・拡散を抑制する物理・化学的防除法の開発、

菌根菌と植物生育促進菌類との組み合わせによる安定した防除法の開発など、総合的な防除体系の構築を試みた。留学したミシガン州立大学では Lockwood 先生のもとで静菌作用の研究を行ったが、先生からはその後の研究にも貴重なアドバイスと激励をいただいた。

最後に、ご指導を賜った多くの方々、また共同研究して下さった方々にお礼申し上げるとともに、本学会のますますの発展をお祈りします。

### 名誉会員 上田一郎



1950年3月東京都生まれ。1972年3月北海道大学農学部卒業、1978年8月ワシントン州立大学博士課程修了、1978年10月北海道大学農学部助手、1982年4月同助教授、1995年4月同教授、2009年4月北海道大学農学研究院長、2011年4月北海道大学理事副学長、2017年3月北海道大学退職、同年4月北海道大学名誉教授、同年5月ノーステック財団シニアフェロー。現在に至る。

研究歴：大学院より一貫して、植物ウイルスの研究を行い、ウイルス病診断法の開発、分類同定、ウイルス遺伝子の機能解析に貢献してきた。ウイルス病診断法の開発では、主に豆類ウイルスやジャガイモウイルスの ELISA の開発に尽力した。植物レオウイルスの研究では、ゲノム構造解析を行い、ICTV Reovirus Study Group のメンバーとして分子分類の基礎を作った。また、植物レオウイルスゲノムの多様性を発見して、遺伝学的な機能解析方法を開発し、病徴発現や虫媒性に関与するウイルス遺伝子機能解析に貢献した。クローバ葉脈黄化ウイルスについては、病徴誘導機構と、エンドウのウイルス抵抗性を打破するウイルス遺伝子の特定とその解析を行った。こうした研究により、RNA をゲノムとする植物ウイルスは、自身のゲノムを頻

繁に変異させて、宿主抵抗性を回避したり、宿主環境に適応することを明らかにした。

学会活動：会長・副会長，日本植物病理学会大会実行委員長，日本植物病理学会学会報編集委員長，評議員，北海道部会長を務めて，学会の運営に尽力した。

受賞：2002年に「イネ萎縮ウイルスゲノムの構造と機能に関する研究」で日本植物病理学会学会賞を授賞

著書など：植物ウイルス学（分担執筆），植物病理学（分担執筆）微生物の病原性と植物の防御応答（監修）他

最後に，ご指導いただいた先生方，研究や学会運営で協力・支援いただいた学会員・先輩・同僚の皆様，共に研究を行った研究室の同僚・卒業生の皆様に心より感謝申し上げますと共に，植物病理学が学会のもとでますます発展されますことを祈念しております。

## 【会員の動静】

### 1. 人事

#### (1) 大学関係

市村和也	H31.4	香川大学 農学部 教授
薦田（萩原）優香	H31.4	酪農学園大学 農食環境群循環農学類植物病理学研究室 准教授
山本幹博	R1.10	岡山大学 環境生命科学研究科植物機能開発学講座 教授
河野洋治	R1.12	[退職 中国科学院 上海植物逆境生物学研究中心 Group of Signal Transduction and Immunity 教授]
河野洋治	R2.1	岡山大学 資源植物科学研究所植物免疫デザイングループ 教授
鈴木一実	R2.3	[退職 滋賀県立大学 環境科学部植物病理学研究室 教授]
古屋廣光	R2.3	[退職 秋田県立大学 生物資源科学部 教授]
古屋廣光	R2.4	秋田県立大学 名誉教授・特別研究員
久保康之	R2.3	[退職 京都府立大学 生命環境科学研究科植物病理学研究室 教授]
久保康之	R2.4	摂南大学 農学部植物環境微生物学研究室 教授
海道真典	R2.3	[退職 京都大学 農学部植

海道真典	R2.4	物病理学研究室 助教] 摂南大学 農学部植物環境微生物学研究室 准教授
岡野夕香里	R2.4	福島大学 食農学類植物病理学研究室 准教授
飯田祐一郎	R2.4	摂南大学 農学部植物環境微生物学研究室 講師
五味剣二	R2.4	香川大学 農学部 教授
津下誠治	R2.4	京都府立大学 生命環境科学研究科植物病理学研究室 教授
望月知史	R2.4	大阪府立大学 生命環境科学研究科植物生体防御学グループ 准教授
住田卓也	R2.4	滋賀県立大学 環境科学部植物病理学研究室 講師
松井英譲	R2.4	岡山大学 環境生命科学研究科植物機能開発学講座 准教授
兵頭 究	R2.4	岡山大学 資源植物科学研究所植物・微生物相互作用グループ 准教授
多賀正節	R2.4	[退職 岡山大学 自然科学研究科 特命教授（研究）]
外側正之	R2.4	静岡県農林環境専門職大学 教授
(2) 農水省関連研究機関関係		
井上康宏	R1.8	農研機構・中央農業研究センター 病害研究領域病害防除体系グループ 上級研究員
奥田 充	R1.10	農研機構・本部 企画戦略本部研究推進部研究推進総括課 課長
佐藤恵利華	R1.10	農研機構・中央農業研究センター 病害研究領域生態的防除グループ 主任研究員
竹原利明	R1.11	農研機構・本部 管理本部技術支援部中央技術支援センター センター長
加藤秀憲	R1.11	農研機構・本部 管理本部技術支援部中央技術支援センター 課長
佐山 充	R1.11	農研機構・本部 企画戦略本部研究推進部スマート農業実証事業推進室 兼北海道農業研究センター地域戦略部研究

		推進室 スマート農業コー ディネーター	善林 薫 R2.4	農研機構・本部 評価室 室長
大崎秀樹 R1.11		農研機構・本部 広報部広報 戦略室 広報専門役	安田伸子 R2.4	農研機構・本部 企画戦略本 部経営企画部経営戦略総括課 上級研究員
落合弘和 R1.11		農研機構・本部 兼生物機能 利用研究部門研究推進部 リ スク管理部実験管理室 室長	小坂橋基夫 R2.4	農研機構・本部 企画戦略本 部研究推進部スマート農業実 証事業推進室 兼中央農業研 究センター地域戦略部研究推 進室 スマート農業コーディ ネーター
眞岡哲夫 R1.11		農研機構・北海道農業研究セ ンター 地域戦略部 部長		
植原健人 R1.11		農研機構・中央農業研究セン ター 地域戦略部事業化推進 室 産学連携コーディネーター	宮坂 篤 R2.4	農研機構・本部 管理本部技 術支援部九州沖縄技術支援セ ンター センター長
兼松聡子 R1.11		農研機構・果樹茶業研究部門 研究推進部研究推進室 室長	永坂 厚 R2.4	農研機構・東北農業研究セン ター 生産環境研究領域病害 虫グループ 上級研究員
赤松 創 R1.11		農研機構・中央農業研究セン ター 地域戦略部事業化推進 室 産学連携コーディネーター	達 瑞枝 R2.4	農研機構・東北農業研究セン ター 生産環境研究領域病害 虫グループ 主任研究員
塩谷 浩 R1.11		農研機構・果樹茶業研究部門 兼管理本部 カンキツ研究領 域 研究領域長	白川 隆 R2.4	農研機構・中央農業研究セン ター 所長
小林 晃 R2.1		農研機構・九州沖縄農業研究 センター 畑作研究領域サツ マイモ育種グループ グルー プ長	太田光祐 R2.4	農研機構・中央農業研究セン ター 病害研究領域抵抗性利 用グループ 研究員
佐々木厚子 R2.1		農研機構・果樹茶業研究部門 リンゴ研究領域リンゴ病害虫 ユニット 上級研究員	村上理都子 R2.4	農研機構・中央農業研究セン ター 虫・鳥獣害研究領域生 物的防除グループ 上級研究員
柳澤広宣 R2.3		農林水産省 横浜植物防疫所 成田支所	伊藤陽子 R2.4	農研機構・西日本農業研究セ ンター 生産環境研究領域病 害管理グループ 上級研究員
伊藤 伝 R2.3		[退職 農研機構・果樹茶業 研究部門 リンゴ研究領域リ ンゴ病害虫ユニット ユニッ ト長]	福永亜矢子 R2.4	農研機構・西日本農業研究セ ンター 生産環境研究領域土 壌管理グループ 主任研究員
伊藤 伝 R2.4		農研機構・果樹茶業研究部門 リンゴ研究領域 再雇用	高山智光 R2.4	農研機構・九州沖縄農業研究 センター 園芸研究領域イチ ゴ栽培グループ 主任研究員
澤田宏之 R2.3		[退職 農研機構・遺伝資源 センター 微生物分類評価 チーム 主席研究員]	井上博喜 R2.4	農研機構・九州沖縄農業研究 センター 生産環境研究領域 病害グループ グループ長
澤田宏之 R2.4		農研機構・遺伝資源センター 再雇用	清水健雄 R2.4	農研機構・果樹茶業研究部門 ブドウ・カキ研究領域ブド ウ・カキ育種ユニット 主任 研究員
飯田祐一郎 R2.3		[辞職 野菜病害虫・機能解 析研究領域 病害ユニット 主任研究員]	吉田克志 R2.4	農研機構・果樹茶業研究部門
中島 隆 R2.4		農研機構・本部 理事		

中保一浩	R2.4	研究推進部 茶業連携調整役 農研機構・野菜花き研究部門 野菜病害虫・機能解析研究領域 領域長	白石友紀	R2.3	ター 研究部畜産・果樹研究 担当 主査] [退職 岡山県農林水産総合 センター 生物科学研究所 所長]
磯崎真英	R2.4	農研機構・野菜花き研究部門 野菜生産システム研究領域生 産工学ユニット ユニット長	美濃健一	R2.4	北海道立総合研究機構農業研 究本部 原子力環境センター 研究主幹
上田重文	R2.4	農研機構・野菜花き研究部門 野菜病害虫・機能解析研究領 域病害ユニット ユニット長	野津あゆみ	R2.4	北海道立総合研究機構農業研 究本部 地域技術グループ 主査
吉田哲也	R2.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 植物・微生物機能利用 研究領域 植物微生物機能ユ ニット 任期付研究員	角野晶大	R2.4	北海道立総合研究機構中央農 業試験場 病害虫グループ 研究主査
谷口麦子	R2.4	農研機構・種苗管理センター 雲仙農場	西脇由恵	R2.4	北海道立総合研究機構中央農 業試験場 病害虫グループ 主査
須崎浩一	R2.5	農研機構・果樹茶業研究部門 リンゴ研究領域リンゴ病害虫 ユニット ユニット長	小松 勉	R2.4	北海道立総合研究機構中央農 業試験場 予察診断グループ 研究主幹
竹山さわな	R2.5	農研機構・野菜花き研究部門 野菜生産システム研究領域生 産環境ユニット 研究員	小澤 徹	R2.4	北海道立総合研究機構中央農 業試験場 予察診断グループ 主査
大澤 央	R2.6	農研機構・北海道農業研究セ ンター 水田作研究領域水田 機械作業グループ 研究員	安岡眞二	R2.4	北海道立総合研究機構道南農 業試験場 作物病害虫グルー プ 研究主幹
北林奨也	R2.6	農研機構・西日本農業研究セ ンター 生産環境研究領域病 害管理グループ 研究員	池田幸子	R2.4	北海道立総合研究機構道南農 業試験場 作物病害虫グルー プ 研究主査
(3) 都道府県試験研究機関関係					
八重樫元	R1.12	富山県農林水産総合技術セン ター 園芸研究所花き課 主 幹研究員	新村昭憲	R2.4	北海道立総合研究機構上川農 業試験場 生産技術グループ 主査
植草秀敏	R2.3	[退職 神奈川県農業技術セ ンター 生産環境部 部長]	村田暢明	R2.4	北海道立総合研究機構上川農 業試験場 生産技術グループ 研究職員
佐々木大介	R2.3	[退職 静岡県加茂農林事務所]	長濱 恵	R2.4	北海道立総合研究機構上川農 業試験場 生産技術グループ 主任主査
瓦谷光男	R2.3	[退職 大阪府立環境農林水 産総合研究所 食と農の研究 部防除グループ 研究員]	相馬 潤	R2.4	北海道立総合研究機構十勝農 業試験場 生産技術グループ 研究主幹
島津 康	R2.3	[退職 和歌山県果樹試験場 場長]	白井佳代	R2.4	北海道立総合研究機構十勝農 業試験場 生産技術グループ 研究主査
三好孝典	R2.3	[退職 愛媛県農林水産研究 所 果樹研究センター セン ター長]			
田代暢哉	R2.3	[退職 佐賀県上場営農セン			

東岱孝司 R2.4	北海道立総合研究機構十勝農業試験場 生産技術グループ 研究主任	鐘ヶ江良彦 R2.4	病理昆虫研究室 研究員 君津農業事務所 改良普及課 上席普及指導員
栢森美如 R2.4	北海道立総合研究機構十勝農業試験場 生産技術グループ 研究主任	坂本 彩 R2.4	東京都島しょ農林水産総合センター 八丈事業所 研究員
小倉玲奈 R2.4	北海道立総合研究機構北見農業試験場 生産技術グループ 主査	守川俊幸 R2.4	富山県農林水産総合技術センター 農業研究所 副所長
池谷美奈子 R2.4	北海道立総合研究機構北見農業試験場 生産技術グループ 研究主査	鈴木幹彦 R2.4	静岡県病害虫防除所 班長
堀田治邦 R2.4	北海道立総合研究機構花・野菜技術センター 場長	加藤光弘 R2.4	静岡県経済産業部農業局 地域農業課 班長
佐々木純 R2.4	北海道立総合研究機構花・野菜技術センター 生産技術グループ 主査	市原 実 R2.4	静岡県農林技術研究所茶業研究センター 茶環境適応技術科 上席研究員
藤根 統 R2.4	北海道立総合研究機構花・野菜技術センター 生産技術グループ 研究主任	鈴木啓史 R2.4	三重県農産園芸課 課長補佐 兼班長
千田智子 R2.4	北海道日高農業改良普及センター 主査	芳田侃大 R2.4	奈良県食と農の振興部畜産課 主事
佐々木大介 R2.4	北海道立総合研究機構農業研究本部上川農業試験場 生産環境グループ	勝真雅大 R2.4	奈良県農業研究開発センター 環境科 主事
林可奈子 R2.4	茨城県坂東地域農業改良普及センター 地域普及第一課 技師	井沼 崇 R2.4	和歌山県農業試験場 環境部 主査研究員
池田健太郎 R2.4	群馬県農業技術センター 環境部病害虫係 係長	三上哲壯 R2.4	島根県農業技術センター 技術普及部 主任農業普及員
酒井 宏 R2.4	群馬県農業技術センター 東部地域研究センター センター長	唐津達彦 R2.4	山口県山口農林水産事務所 担い手支援課 課長
三木静恵 R2.4	群馬県農政部技術支援課 普及指導室園芸技術係 主幹	奈尾雅浩 R2.4	愛媛県農林水産研究所 企画戦略部次世代農業戦略室 室長
植竹恒夫 R2.4	埼玉県農業技術研究センター 副所長	山崎睦子 R2.4	高知県須崎農業振興センター 産地育成担当 チーフ
塩田あずさ R2.4	千葉県農林総合研究センター 研究マネジメント室 主席研究員	下元祥史 R2.4	高知県安芸農業振興センター 産地育成担当 普及指導員
海老原克介 R2.4	千葉県農林総合研究センター 研究マネジメント室 主任上席研究員	稲田 稔 R2.4	佐賀県農業試験研究センター 環境農業部 部長
中田菜々子 R2.4	千葉県農林総合研究センター	菖蒲信一郎 R2.4	佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部 部長
		中村吉秀 R2.4	長崎県病害虫防除所 専門幹
		岡本 潤 R2.4	大分県農林水産研究指導センター 農業研究部花きグループ 主任研究員
		鈴木智範 R2.4	大分県農林水産研究指導センター 農業研究部葉根菜類チーム 研究員
		世古雅一 R2.4	大分県中部振興局 生産流通部野菜班 主査

金谷寛子 R2.4 岡山県農林水産総合センター  
農業研究所作物・経営研究室  
研究員

鈴木幹彦 R2.4 静岡県病害虫防除所 班長

石井香奈子 R2.4 静岡県果樹研究センター 果  
樹環境適応技術科

## 2. 学位取得者（課程博士・論文博士）

Hangil Kim H31.3 北海道大学 大学院農学研究  
院 博士（農学）

Small RNA によって調節され  
る植物体内の遺伝子発現と植  
物ウイルスに関する研究：ウ  
イルス生存のために機能する  
RNA サイレンシングサブ  
レッサーの役割

大沢 央 H31.3 北海道大学 大学院農学研究  
院 博士（農学）

ジャガイモ塊茎腐敗の発生生  
態解明と新規防除法の検討

平岩（横山）綾

R1.7

滋賀県立大学 大学院環境科学  
学研究科 博士（環境科学）  
ウリ類炭疽病菌におけるホメ  
オボックス転写制御因子の機  
能解析

Le Thi Phuong

R1.9

岡山大学 大学院環境生命科  
学研究科 博士（農学）  
Study on the mode of action of  
saccharin as a plant activator of  
disease resistance

Mai Thanh Luan

R1.9

岡山大学 大学院環境生命科  
学研究科 博士（農学）  
Study on the endogenous  
suppressor(s) in *Arabidopsis  
thaliana*

Ainan Tian R2.3

東北大学 大学院農学系研究  
科 博士（農学）  
Single amino acid substitutions  
in the cucumber mosaic virus  
1a protein induce necrotic cell  
death in virus-inoculated leaves

鈴木貴大 R2.3

without affecting virus multi-  
plication  
岩手大学 大学院連合農学研  
究科 博士（農学）  
ウイロイドの病原性発現機構

Oliver C. Caasi

R2.3

千葉大学 大学院園芸学研究  
科 博士（Ph. D.）

The application of remote  
sensing technology to estimate  
the severity of bacterial leaf  
blight on rice

岩渕 望 R2.3

東京大学 大学院農学生命科  
学研究科 博士（農学）  
ファイトプラズマの葉化誘導  
因子「ファイロジェン」の構  
造と機能に関する研究

鯉沼宏章 R2.3

東京大学 大学院農学生命科  
学研究科 博士（農学）  
ファイトプラズマの昆虫体内  
における微細動態解析

野澤俊介 R2.3

玉川大学 大学院農学研究科  
博士（農学）  
広義 *Pestalotiopsis* 属の分類体  
系の再整理 — 遺伝子プール  
を基準にした種分類の検討—

Xiaodong You

R2.3

大阪府立大学 大学院生命環  
境科学研究科 博士（応用生  
命科学）

Development of vermicompost  
from moso-bamboo, and analysis  
of its mechanisms of plant-disease  
suppressiveness

足助聡一郎 R2.3

神戸大学 大学院農学研究科  
農学博士  
シコクビエいもち病菌とオオ  
ムギ・コムギの相互作用から  
見たいもち病菌群・植物属間  
特異性の進化

## 3. 海外長期出張者

平田久笑 静岡大学 (R1.5～ R2.3) 米国 コー  
ネル大学

## 【新入会員情報】

- 川口藍乃 兵庫県農林水産技術センター 農業技術センター病害虫部
- 南方高志 和歌山県果樹試験場かき・もも研究所
- 神谷麻梨 龍谷大学 農学部
- 篠永 隼 神戸大学 農学研究科生命機能科学専攻
- 嶋田啓太 近畿大学 農学部バイオサイエンス学科
- 神山詩織 名古屋大学 農学部資源生物科学科
- 吉村拓真 静岡大学 農学部応用生命科学科
- 晋 楚佳 京都大学 農学部
- 小泉彩子 神戸大学 大学院農学研究科生命機能科学専攻
- 藤本崇寛 山口大学 創成科学研究科農学系専攻
- 獅々堀晴信 香川大学 農学部応用生物科学学科
- 夏日英哉 石川県立大学 生物資源環境学部生産科学科
- 松本旺樹 東京大学 大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻
- 中川章吾 協友アグリ株式会社 研究所生物第一チーム
- 富士川陽 宇都宮大学 地域創生科学研究科工農総合科学専攻
- 舟橋汰樹 東京理科大学 理工学部応用生物科学科
- 内田隆文 東京農工大学大学院 農学府農学専攻
- 三富直人 東北大学大学院 農学研究科応用生命科学専攻
- 児玉佐和 九州大学 生物資源環境科学府資源生物科学専攻
- 安達広明 The Sainsbury Laboratory
- 齋藤徳仁 宇都宮大学 工学部応用化学科
- 長浜惟真 株式会社東海テクノ 環境事業部バイオ応用 Gr
- 児玉真一郎 鹿児島県農業開発総合センター
- 芝田英明 愛媛県農林水産研究所農業研究部 病理昆虫室
- 長尾智尊 東京大学 大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻
- 権 峻 北海道大学 大学院農学院生物資源科学専攻
- 田崎光佑 信州大学 農学部農学生命科学科
- 早野敬大 岐阜大学 自然科学技術研究科生物生産環境科学専攻
- 石橋璃可子 佐賀大学 農学部
- Nguyen Thi Tuyet Nhung 信州大学 大学院先端生命科学分野農学専攻
- 山田麻貴 日本農薬株式会社 市場開発本部開発部国内開発グループ
- 岡村優奈 法政大学 生命科学部応用植物科学科
- 大原梨恵 大阪府立大学
- 鈴木順也 法政大学大学院 理工学研究科生命機能学専攻
- 原田大樹 法政大学 理工学研究科生命機能学専攻
- 氏家章雄 香川県農業試験場 病害虫防除所
- 郷間秀夫 栃木県農業大学校 園芸経営科
- 朱 超 高知大学 農林海洋遺伝子実験施設
- Akhter Md Shamim 北海道大学 大学院農学研究院生物資源科学科
- 芝 和樹 大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科
- 石崎駿卓 法政大学 生命科学部応用植物科学科
- 阪井ゆりか 法政大学 生命科学部応用植物科学科
- 山本一成 東京大学 大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻
- Telengech Paul 岡山大学資源生物科学研究所 環境生命科学
- 鶴之沢敦志 横浜国立大学 大学院環境情報学府自然環境専攻
- Adbelsalam Sobhy S.H. 岡山大学
- 佐藤里香 法政大学 生命科学部応用植物科学科
- 新門想太 東京理科大学 理工学部応用生物科学科
- Horo Jemal Tola 神戸大学 アグロバイオサイエンス
- 馬場美幸 横浜国立大学 理工学部化学・生命系学科
- 加藤誠司 法政大学 生命科学部応用植物科学科
- 高 毓蔚 高知大学 農学部修士・総合人間自然科学研究科農学専攻
- 栗原里帆 信州大学 農学部農学部農学生命科学科
- 佐藤大元 東京理科大学 理工学部応用生物科学科
- Abebe Derib A 東北大学 大学院農学研究科
- 武藤 悠 鳥取大学 農学部生物資源環境学科
- 福田伸二 佐賀大学 農学部附属アグリ創生教育研究センター

小川翔也	愛媛大学 農学部食料生産学科
前村知佳	東京理科大学 理工学研究科応用生物科学専攻
Masi Sireli カマーニャ	東京農工大学 マウリツィオ 名古屋大学大学院生命農学研究科
木元菜々子	岡山大学 農学部
矢野裕奈	岡山大学 農学部
宮崎美樹	日本アルコール産業株式会社 関連事業本部
長谷川翔哉	岐阜大学 応用生物科学科生産環境科学課程
小寺 由 山本 峻 溝部信二	信州大学 農学部植物資源科学コース (株)アセラ 農薬試験センター 山口県農林総合技術センター 農業技術部
水野晶巳 白根 昇 祖田嘉教	合同会社水野 AFG 研究所 大分県農林水産研究指導センター 農業研究部
岩田侑香里 渡辺一郎 加藤晴菜	鳥取県園芸試験場 環境研究室 日本タルク株式会社 東京営業所 福井シード株式会社 研究本部ベジプロセンター
鈴木誠人	東京大学 農学部

(2019年5月～2020年4月)

## 【学会活動状況】

### 1. 技術士対応委員会

令和元年度技術士第二次試験（農業部門・植物保護）で9名が合格

令和2年3月6日に令和元年度技術士第二次試験（農業部門・植物保護）の合格者が発表されました。次の9名の方が合格されました（敬称略・官報掲載順）。

久保 周子（千葉県農林総合研究センター；本会会員）、加藤 雅康（国際農林水産業研究センター；本会会員）、村上 芳照（山梨県総合農業技術センター）、奥田 充（農研機構本部；本会会員）、宮本 恭輔（日本農薬株式会社）、高田 裕司（長崎県農林技術開発センター）、清水 進（西日本短期大学）、菅 広和（岩手県農林水産部；本会会員）、岩下 恭子（北興化学工業株式会社）。

今回の合格者を合わせ、技術士第二次試験（農業部門・植物保護）合格者は計142名となりました。引き続き、試験研究機関や民間企業、大学など、多様な組織から多くの

方の受験をお願いします。令和2年度の技術士第一次試験は令和2年10月11日（日）に行われる予定です。一方、技術士第二次試験の筆記試験は、当初令和2年7月12日（月）に行われる予定でしたが、令和2年9月22日（火）に延期されております。詳細は日本技術士会のホームページの試験・登録情報から、試験の実施案内を御確認ください。令和2年度も多くの技術士（農業部門・植物保護）の誕生を期待しています。

## 【学会活動予定】

### 1. 部会

2020年度の部会につきましては、現在、Web開催を含め、開催方法、日程を検討中です。詳細が決まり次第、学会ホームページ、会員お知らせメール等を通じて、速やかにご連絡申し上げます。

## 【PR記事】

### 高知県農業技術センター

高知県農業技術センターのHP (<https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2012>) では、研究課題や成果の紹介などを行っています。また、フェイスブック (<https://www.facebook.com/kochi.nogise/>) による情報発信も行っています。是非ご覧ください。

## 【学会ニュース編集委員コーナー】

本会ニュースは、身近な関連情報を気軽に交換することを趣旨として発行されております。会員の各種出版物のご紹介、書評、会員の動静、学会運営に対するご意見、会員の関連学会における受賞、プロジェクト研究の紹介などの情報をお寄せ下さい。とりわけ、今号に掲載いたしました会員の動静につきましては、編集委員の目が行き届いていないところも多々あろうかと存じます。下記宛先まで、よろしく願い申し上げます。

投稿宛先：〒114-0015 東京都北区中里 2-28-10

日本植物防疫協会ビル内

学会ニュース編集委員会

FAX：03-5980-0282

または、下記学会ニュース編集委員へ：

藤田佳克、山次康幸、足立嘉彦、宮本拓也、竹内香純

## 編集後記

学会ニュース第91号をお届けします。本号は、今年度推薦された名誉会員のご紹介、会員の動静、研究会などの

学会活動の報告等の記事を掲載しました。新しく2名の方が名誉会員に選ばれました。学会への多大なご貢献に深く感謝申し上げますとともに、長年にわたる精力的なご活躍に対して敬意を表したいと思います。

今春も多くの方々に異動がありました。ご退職された皆様、長い間大変お疲れ様でした。職場やポストが変わられた皆様、心機一転、新しい仕事での益々のご活躍を祈念い

たします。新たに会員になられた皆様をご紹介しました。皆様の今後の更なるご活躍を期待しております。

2020年度の部会につきましては、現在、開催方法、日程を検討中です。詳細が決まり次第、学会ホームページ等で速やかに連絡される予定です。  
(藤田佳克)

---